

凡て是れ修行、先生は既に死期を悟られて居たのかも知れない。秋の教学大会にはぼうぼうたる髭のまゝ、坦上に立たれ、この会に遅刻するとは何事かと叱正激励された。これが最後で間もなく入院された事を知ったが、遂に病床を御見舞する事も出来ずにしまった。まさかこんな急に遷化なされるとは思わなかつた安易の氣持の致すところ申訳なく思われてならない。

凡て是れ修行だぞ、今も先生は私達に呼びかけて居られる事だろう。

師の御靈旅立つ朝雪浄土

(本学教授)

老師の微笑

大 森 孝

私が松木先生に初めて御会い致したのは、約十年前でした。当校に勤務する事になりまして、里見先生に案内して戴き、本山の先生の御部屋に御挨拶に伺いました。当時、先生は学頭、及び本山で教学部長をして居られました。私も上司と初めて会うので少々緊張して居りました。初めて先生と視線が会った時、大きい眼で、ぎょろっと見られたので、少々こわい感じが致しました。しかし、私の生地が、都留市である事から、先生の御親戚も都留市にありましたので、種々話はずみ、帰る時には、以前から存じて居る様な、非常に親しい氣持になって居りました。

又、或る時は、下部で夕食を御一緒に致した事も有ります。その折は、御酒が入りましたので、互いに、愉快に談致しました。先生には、随分と打ち解けた話をなされました。外面上の謹厳さとは又違った面を、示され、ニューモアを解する、視野の広い方であると深く感じました。

此の二年程、先生には、健康を害されて、何となく、御元気が有りませんでした。殊に昨年秋の宗学研究大会には、御体も随分弱って居られる様でしたが、御無理をして出席なされたものと思います。研究大会が終ってまもなく先生は、学校を休まれる様になりました。其後入院なされたとの由でしたので、一度御見舞に伺い度いと思ひながら、失礼して居ります中に、先生の御死去の報に接してしまいました。そう急に御亡くなりになるとは思ひませんでした。

先生が、学校から歩いて御帰りになる後姿を見ましたのが、私の御会いした最後でした。御病床中の先生に、御会いして居りませんので、つい最近迄、先生が、ひょっと御顔を事務局に御出しになる様なきがしてなりませんでした。

今、私の心に強く残るものに、先生の微笑があります。それは、確か宗学研究大会が、一段落した四時頃だったと思います。用事がありまして、私が大講堂に上って行きますと、外側の廻廊に先生が、御一人で立って居られました。そして、講堂の方や、又周囲の景色を眺めながら、夕日を受けて微笑して居られました。私は、その微笑に、はっと心を打たれたのです。それは、複雑な感じを私に与えました。その微笑には、満ち足りた感情が溢れて居ました。長い労苦の末、漸く目的地に、たどりついた旅人の満足感が見えました。しかし、反面非常に寂しそうな感じが出て居ました。多分先生は、其時御自分の生命の長くない事を、予感して居られたのだと思います。私は、その微笑の中に、先生の歴史を見た様な気が致しました。又其れは、先生個人を離れて、人間の運命と言ったものを私に感じ

させました。落日の中の高貴な、寂しい微笑でした。私は、先生に気づかれない様に去りました。

終に、先生に次の歌を捧げ、御冥福を祈る次第です。

// 落日に淡く光れる新しき

学舎に老師ほゝえみて居り〃

了

(本学助教授)

古武士の風格

猪 俣 日 康

私が先生に解説し始めたころは、オッカナイ、ワンマン的映像がクローズ・アップされ、しかも、その内に秘める古武士的性格がのぞかれ、近よりがたい存在に思えました。

しかし、歳と共に、渋い燻しがかゝって、温容玉のごとく、という形容がピッタリする位いの老大人になられたが、流石に本性は争えないもので、ときに鋭い鋒鋒がチラリと頭をだしたり、ピリット辛味の利いた皮肉がこぼれ落ちたりする場合もあったが、たいていはほんの瞬間的な閃めきに止どまられました。

先生の人望、人徳その全人格から滲みでる感化力と説得力は高く評価され、校舎建設に際して、全国の同窓会員の要請にこたえて、病軀をひっさげながら、南は長崎、北は青森と東奔西走なされ、異常な熱意と粘りを示されました。